

愛知学院大学図書館情報センターの「理念と目標」

《理念》 図書館情報センターは、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に基づき、教育・研究を支えるための基盤的施設として活動する。

そのために、資料などを体系的に収集・整理・保存して学術情報を蓄積するとともに、利用者への確かな情報を素早く提供しよう努める。さらに、図書館情報センターで蓄積された情報を内外に発信して、学内外の組織と連携・協力する。これらの目的を実現する為に、以下の目標に沿って運営する。

《目標》

1. 学習・教育支援の推進 愛知学院大学の教育内容を考慮し、利用者の学習・教育支援を推進する。
2. 研究支援の充実 学術情報環境の変化に留意して、情報提供機能と発信機能を整備し、充実した研究支援を行う。
3. 社会貢献の促進 図書館開放および公共図書館との連携を促進することで社会貢献の一環を果たし、社会に開かれた大学図書館とする。
4. 資料組織の構築 愛知学院大学の特色に沿った資料の収集を進めるとともに、それらを体系的に整理・保存する資料組織を構築する。
5. 効果的・効率的な運営 効果的効率的な運営を目指し、利用者の利便性向上を計る。

表紙の解説



(図書館情報センター所蔵)

モリス「ジョーサー著作集」 1896年 ハマスミス刊

本書は、ケルムスコット・プレスにおける最大の版型で印刷されたものである。この本は、世界でも最も美しい本として評価が高く、ダブズ・プレスの『欽定英訳聖書』5巻、アシェンデン・プレスの『ダンテ著作集』とともに、世界三大美書のひとつに数えられている。限定425部、白豚皮表丁、三方金。さらに、空押し文様をあしらった非常に豪華な書物といえる、ケルムスコット・プレスにおける最高傑作の作品であることは間違いない。本書は、ジョーサー活字とトロイタイプの活字を使用。二色刷。

このウィリアム・モリスが手がけた全53種の本を、愛知学院大学図書館情報センターは、「ウィリアム・モリスコレクション」として所蔵している。

(足立)